

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成26年4月17日

一部修正 平成26年5月30日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	特定非営利活動法人 ハッピーロードネット		
	住所	福島県双葉郡広野町広洋台二丁目1-5		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	南双葉青年会議所	担当者名	小野田 洋之
	住所	福島県双葉郡広野町大字下浅見川字 桜田40	電話番号	090-7528-8246
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	(一社)浪江青年会議所	担当者名	朝田 英謙
	住所	福島県二本松市金色 402-1 2F (株)双葉不動産内	電話番号	090-2882-9791
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	(一社)原町青年会議所	担当者名	西山 健司
	住所	福島県南相馬市原町区本町 2-55-1	電話番号	0244-23-5520
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	(一社)相馬青年会議所	担当者名	植村 賢二
	住所	福島県相馬市中村字桜ヶ丘 71	電話番号	0244-36-4411
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	(公社)いわき青年会議所	担当者名	渡邊 大輔
	住所	福島県いわき市福島県いわき市平字 搔槌小路 18-8	電話番号	0246-24-0780
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	双葉地方町村会	担当者名	松本 広行
	住所	広野町大字下北泊字二つ沼 44-15	電話番号	0240-25-8012
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	福島県避難地域復興課	担当者名	齋藤 めぐみ
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	福島県原子力等立地地域振 興事務所	担当者名	山家 謙一
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	いわき市土木部	担当者名	佐々木 伸和
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	相馬市建設部都市整備課	担当者名	石井 重好
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	南相馬市建設部	担当者名	林 英之
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	広野町建設課	担当者名	坂本 久夫
会議体に参加 する行政	名称及び部課名	楡葉町建設課	担当者名	矢内 吉友

会議体に参画する行政	名称及び部課名	富岡町産業建設課	担当者名	郡山 泰明
会議体に参画する行政	名称及び部課名	大熊町産業建設課	担当者名	横山 常光
会議体に参画する行政	名称及び部課名	浪江町復興事業課	担当者名	鈴木 敏雄
会議体に参画する行政	名称及び部課名	葛尾村地域振興課	担当者名	金谷 喜一
会議体に参画する行政	名称及び部課名	新地町建設課	担当者名	小野 好生

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称					
代表構成員の団体名及び代表者職氏名					
構成団体	都道府県・市区町村名及び部課名		事業における役割		
	民間非営利組織の種別・名称		事業における役割		
		住所			電話番号

2 事業概要

事業名	ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワーク形成事業
総事業費	12,530,000円(うち希望補助金額 10,000,000円)
事業の実施期間	平成26年6月1日から平成27年3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

地域における課題と事業の目的	<p>地域課題、地域社会にとっての必要性（ニーズ）及びその確認方法、重要性、この事業により期待できる成果、地域住民への効果等がわかるように記載してください。</p> <p>・東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により避難指示区域が設定された双葉郡をはじめとする浜通り地方は、平成23年9月に緊急時避難準備区域が解除され、平成25年5月28日には双葉町</p>
----------------	--

	<p>の区域見直しが完了し、警戒区域が解消されたが、今なお多くの住民が県内外へ避難しており、避難住民の健康状態の悪化や仮設住宅での孤独死が社会問題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月以降、区域見直しに伴い除染やインフラ復旧が進められているが、住民意向調査における帰還意向については、「現段階では判断できない」又は「帰還しない」との回答が6割を占めており、今後も避難生活の長期化により帰還意識が弱まることが懸念されている。 ・このような状況の中、仮設住宅等で生活する避難住民や次代を担う商工業者をスタッフとして桜の植樹事業を実施することにより、浜通り地方再生への機運を高め、住民が夢と希望を持ち、健康で生き甲斐のある生活を取り戻すとともに、地域再生の核となる人材を育成する。 ・また、全国から植樹ボランティアを募集し、浜通り復興支援ネットワークを形成する。
事業の目標	<p>「〇〇を〇〇以上にする」等、可能な限り数値を用いて記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワーク」を創設し、会議に参加するボランティア団体等の数を30団体以上とする。 ・スタッフとして植樹事業に参加する避難住民等の数を50人以上とする。
事業内容	<p>事業の内容、実施時期、実施場所（会場）、参集範囲及び参加予定人数等を具体的に記載してください。事業内容が複数に分かれる場合は、事業ごとに記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の植樹スタッフや全国の復興支援ボランティア団体等を中心とした「ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワーク」を創設する。 ・新地町からいわき市までの市町村ごとに桜の植樹ポイントを設定し、11月から3月まで、桜の苗木を植樹する。 ・植樹に当たっては、事前に避難住民、当該市町村関係団体（商工会、社会福祉協議会、地域づくり団体等）に呼びかけるとともに、市町村ごとの実行組織が中心となり、実施計画の策定、参加者募集、植樹事業の実施等を行う。 ・全国からのボランティアについては、ハッピーロードが一括して受け付け、各植樹実行組織へ振り分ける。 ・平成27年3月には、「ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワーク」による浜通り地方の復興再生を加速するための研修会を開催し、次年度以降の事業展開について研究討議する。
見込まれる成果	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。</p> <p><直接的効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難住民や次代を担う商工業者をスタッフとし桜の植樹事業を実施することにより、避難住民や商工業者の浜通り地方再生への機運を高めるとともに、地域再生の核となる人材を育成することができる。 <p><波及効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難住民に夢と希望を持っていただくことにより、健康で生き甲斐のある生活を取り戻していただくことができる。 ・植樹のため全国からボランティアが集まることにより、復興の加速化を図ることができる。

	2. 取組実施主体の運営力強化の観点	<p>取組内容により、取組実施主体においてどのように運営力強化が図られるのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難住民や次代を担う商工業者をはじめ、全国から集まるボランティアによる浜通り復興支援ネットワークを形成することにより、次年度以降も継続して事業展開できる組織体制を構築することができる。
事業スケジュール		<p>いつ、どのような活動を行うのか、事業の進め方、段取りがわかるように記載してください。</p> <p>6月 植樹候補地の調査・検討（9月頃まで） 各市町村関係団体との協議 ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワークの創設</p> <p>9月 各植樹事業実行組織の立ち上げ 実行委員会の開催（植樹場所の決定）</p> <p>10月 各実行組織スタッフの募集、植樹ボランティアの募集</p> <p>11月 植樹準備</p> <p>12月 植樹の実施</p> <p>～2月</p> <p>3月 ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワーク研修会開催</p>
事業実施体制		<p>事業の実施責任者、会議体の構成員の名称及び役割分担等を記載してください。複数の団体が連携して申請する場合は、連携の具体的な内容についても記載してください。</p> <p>【事業の実施責任者】 特定非営利活動法人ハッピーロードネット 理事長 西本 由美子</p> <p>【会議体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定非営利活動法人ハッピーロードネット 植樹事業の全体調整、植樹場所の決定、苗木の発注、スタッフ及びボランティアの募集、全国への情報発信、ふくしま浜街道・ふるさと再生ネットワークの創設、企画、運営。 ○ 南双葉青年会議所等 事業全体へのスタッフとしての支援 ○ 双葉地方町村会 関係市町村等との連絡調整、事業の企画運営支援。 ○ 避難地域復興局、原子力等立地地域振興事務所 関係機関との連絡調整、事業の企画運営支援 ○ 市町村 住民等への事業啓発、スタッフ・ボランティアの募集支援、住民の送迎等への支援
事業終了後の展開		<p>事業終了後、会議体の取り組みをどのように継続し、または発展させるのかを記載してください。</p> <p>昨年度実施したふくしま浜街道・桜プロジェクトでは、東京都立富士高校の生徒さんをはじめとし1千名を超えるボランティアの協力の下、新地町からいわき市までの国道6号に2千本の桜を植樹し、避難している住民に夢と希望を持っていただくことができたが、警戒区域が解消されても浜通りの復興は遅々として進んでいない。</p> <p>このような状況の中、今年度も継続して、市町村ごとの実行組織に避難中の住民等がスタッフとして参加することにより、市町村ごとの組織を強化し、次年度以降の桜の植樹事業を加速化していく。</p> <p>また、実行組織のスタッフとして参加した地域住民と全国とのボランティアによる浜通り復興支援ネットワークを形成することにより、桜の植樹だけでなく、様々なふるさと復興再生活動を活性化していく。</p>

<p>事業の先進性・普及性</p>	<p>どのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるのかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度の事業は全国版のテレビ、新聞にも大きく取り上げられたため、東京をはじめ遠くは広島からも植樹ボランティアに参加いただくことができた。こうした全国からのボランティアをネットワーク化することにより、浜通り地方の復興に向けた住民活動を加速化することができる。とともに、多様な復興再生活動を展開していくことができる。 ・NEXCO東日本様にプロジェクトの趣旨にご賛同いただき、昨年度常磐自動車道沿いに約500本の桜を植樹していただいております、今年度以降も継続して常磐自動車道沿いに植樹をしていただく予定である。
<p>特記事項</p>	<p>特に説明しておきたい事項、アピールポイント等ありましたら記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度実施したふくしま浜街道・桜プロジェクトは、宮城、岩手の桜植樹プロジェクト活動と連携するきっかけとなり、平成25年5月30日から31日に福島市で開催された小田和正氏のコンサートにおいて3プロジェクト合同のPR活動を行うなど、多様な活動が展開されている。 <p>また、2020年の東京オリンピックの聖火リレーを国道6号線に誘致することで、住民の復興に対する機運を高め、今後の更なる復興の加速を促す。</p>

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）

収支予算書

申請者名 特定非営利活動法人ハッピーロードネット

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成26年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	10,000	
自己資金（負担者名）	2,530	
NPO法人ハッピーロードネット	2,530	
事業収入		
その他収入		
収入合計	12,530	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成26 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）		
報償費	28	講師謝金（詳細別紙）
旅費	30	講師旅費
需用費	5,003	
消耗品費	4,503	コピー用紙他（詳細別紙）
燃料費		
印刷製本費	500	ポスター、チラシ、報告書
役務費	87	
通信運搬費	25	切手代
手数料		
保険料	62	イベント保険
使用料及び賃借料	956	テント、テーブル、椅子等レンタル（詳細別紙）
委託料	6,426	（詳細別紙）

支出合計	12,530	

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。

(経費明細書)

(単位:千円)

経費区分	細目	摘要	金額
(2) 報償費	講師謝金	28,000円×1名=28,000円	28
	小計		28
(3) 旅費	講師旅費	講師旅費 東京～いわき特急往復 @片道9,140円×2=18,280円	30
		講師宿泊費 @11,800円×1名=11,800円	
		小計	30
(4) 需用費	消耗品費	コピー用紙 A3 (500枚×5冊)/ケース×1 ¥6,000×1=6,000円 A4 (500枚×5冊)/ケース×1 ¥4,200×2=8,400円 コピー機用トナー ブラック @20,000×3=60,000円 カラー3色 @18,000×6=108,000円 封筒作成 長3サイズ @40円×1,000枚=40,000円 角2サイズ @30円×1,000枚=30,000円 計252,400円	4,503
		イベント用看板・会場案内用看板 横長看板(7,200×700mm) 1枚 86,400円 足付縦看板(2,700×800・300mm) 1枚 48,600円=135,000円	
		桜苗木代 @1,728円×1,700本=2,937,600円	
		添木 @670円×1,700本=1,139,000円	
		土壌改良剤及び肥料 @23円×1,700本=39,100円	
	印刷製本費	ポスター・チラシ作製 ポスター@500円×500枚=250,000円 チラシ@50円×5,000枚=250,000円	500
		小計	5,003
(5) 役務費	通信運搬費	切手@82×310=25,420円	25
	保険料	イベント保険料 @37×1700名=62,900円	62
	小計		87
(7) 使用料・賃借料	会場使用料	会場使用料、テーブル・椅子・音響・照明レンタル、暖房費含む 200,000円	956
	賃貸料	バス貸切 @75,600円×10台=756,000円	
	小計		956
(6) 委託料	事前準備、添え木設置等委託	@3,780円×1,700本=6,426,000円	6,426
	小計		6,426
合計			12,530